



こうふくいちやじょう  
港福一夜城 VOL.5

語って欲しい「今の私、私の家族」

そして「これからの僕らの願い」

DATE 2017年 10月12日(木)

18:30~20:30 (開場18:00)

前回の港福一夜城VOL.4 (「移動」を考える) では、質疑の中で車椅子の障がい当事者が発した言葉の重みに突き動かされるような感覚を得た方も多かった。その一方で、面前でしかも地域に語ることに当事者に最大限配慮しなくてはならないのも事実。でもやはりこの一夜城は『当事者主体』であり続けたい…

日々、今の自分が感じている「生きづらさ」「暮らしにくさ」、「その家族の願い」あるいは「幸福感」「支援側へのメッセージ」とは一体どういうものなのか…。今秋のひととき、しっかりと耳を傾けたい。

障がい当事者が常に語り、主役となれる場、港福一夜城VOL.5!

会場 港北区福祉保健センター1F 予防接種室 (港北区役所内)

参加費 500円 (今回は保育はありません)



申込>> <http://kokucheese.com/event/index/485382/>

対象：原則として港北区内在住在勤、地域のまちづくりや福祉的な取り組みに関心ある方ならどなたでも歓迎。

主催 港福城プロジェクト

港福城プロジェクトは、港北区区内で福祉に関わる団体・個人が自由意志で意見交換・学びあいのために参加するプロジェクト。

参加費は資料代、講師謝金などに充当します。

年数回の勉強会を行う予定で、その都度、WEB媒体で告知します。



福の衆 (プロジェクト賛同人)

このプロジェクトは港北区にゆかりのある有志が、次代を担う人たちが所管や事業の枠を超えて横断的に連携することこそが、地域住民の明日の暮らしの幸せを築くことにつながることを願って、プロジェクト賛同人 = 「福の衆」と名付け、たくさんの方々のご賛同を得て運営します。裏面に五十音順で掲載しています。

問い合わせ：港福城プロジェクト TEAM SASUKE

EMAIL [kohoku.sasuke@gmail.com](mailto:kohoku.sasuke@gmail.com)

<https://www.facebook.com/kohokusasuke>

TEL：045-877-2156 (NPO法人びーのびーの企画室内)

みんなで築く!

港福一夜城

VOL.5

港北の福祉の次代を担う人が  
集まる一夜城

役職・職域・世代は関係ない  
身近な実践を聞きあい、  
ただ明日のために語り合おう

今夜のご当主 (話し手)

秋島 清美さん

(プラダー・ウィリー症候群の子どもの母)

白井 里貴さん

(四肢体幹機能障害の子どもの母)

松本 龍之介さん

(『アスペルガー症候群』当事者)

聞き手

田之畑 有美

港北区地域子育て支援拠点

どろっぷサテライト

## 今夜のご当主



### 秋島 清美

大阪出身、4歳女児の母。2013年7月に長女誕生。  
長女が7か月の頃、どろっぷに通い始め、1歳11か月の頃プラダー・ウィリー症候群と診断される。  
知人の先生に「この子たちは愛される子だよ」と言われ、前向きになれた。  
長女は、この4月から区内の保育園にも通い、元気に過ごしている。  
母は、持ち前の明るさで、少しでも地域の方に長女の病気を知ってもらいたいという想いで伝え続けている。



### 白井 里貴

港北区出身、小学生の男の子2人の母。  
特別支援学校に通う長男は「四肢体幹機能障害」で車いすを使用して生活している。  
長男が0歳の時から港北区地域子育て支援拠点どろっぷに通い、障がいがあるとわかる前から寄り添い続けている地域のシニアボランティアとは「家族」のような存在である。その縁で「ニッポン・アクティブライフ・クラブ（ナルク）」でもボランティア活動を行っている。  
「我が子のこれから」を思うと、「地域での居場所が絶対に必要！」と考え、新しいシステムなどを築けないかと、仲間同士で考えたり、どろっぷスタッフへの提言を続けている「アツさ」を持つ。



### 松本龍之介

1993年生まれ。港北区出身。父と妹と3人家族。小学校期に両親は離婚。自身の障害について、療育手帳申請の際に医者から説明を受け、学校でうまくやれない自分と向き合う。小学校5年時から普通級から個別支援級へ転籍。区内個別支援級中学へ進学・卒業。横浜市内高等特別支援学校へ進学・卒業。障害者雇用にて買い取り販売業に従事したのち退職。「対人関係をうまくするのが苦手」と現在、就労支援事業所へ通所。

## 港福一夜城これまでのあゆみ

### Vol1.2016.10.13(木) 18:45~20:30/ 会場 どろっぷサテライト 参加者 約70名

ご当主：加藤 彰彦さん（沖縄大学前学長）×村田 由夫さん（天倉山保育園園長）  
1970年代以降、お二人が中区寿町で見てきた出来事、人々の姿をいきいきと、当時のスライドを見ながら、聞き、学び合いの場となった。

### Vol2.2017.1.13(金) 18:30~20:00/ 会場 港北区役所1F 予防接種室 参加者 約100名

ご当主：鈴木 明子さん（野のすみれクリニック）×山下 容子さん（株式会社あやちゃん家）  
障がい児の母という当事者として、プロフェッショナルな医療者、看護師という立場で活動してきた取組についてお話を伺った。定員を大幅に越えた参加者とともに考える機会となった。

### Vol3.2017.3.23(木) 18:30~20:15/ 会場 野菜レストランさいとう 参加者 約80名

ご当主：横山 日出夫さん（港北区長）×竹田 和広さん（一般社団法人ウィルドア共同代表理事/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科）  
流動的で“計算できない”といわれるが、ボランティア活動や社会貢献活動への意欲関心が高い若者世代。彼らの活躍の場を地域の人、場はどう受け入れ、どう関わるべきか、地産地消を大切に「野菜レストランさいとう」の料理を堪能しながら考えた。

### Vol4.2017.7.21(金) 18:30~20:30/ 会場 港北区地域子育て支援拠点どろっぷ 参加者 約90名

ご当主：大野 慶太さん（東宝タクシー株式会社社長）×松山 浩士さん（港北区役所）  
福祉的な取組に参画しているタクシー事業者の立場で今後の少子高齢化社会における移動についてや、障がい当事者にとってまだまだ不十分の現実のなか、全ての環境がバリアフリーにならなくても、「ひと」が介在することが重要であるということを感じあう場となった。

## 福の衆-プロジェクト呼びかけ人- (五十音順) 2017年6月1日現在 \*随時募集中! ぜひ一緒に…

青木恵美子 (NPO 法人フラットハート)・安達和世(岸根保育園副園長)・池田誠司(港北区社会福祉協議会)・石原千草・伊藤泰毅・入江勝通 (港学舎/コミバス市民の会)・岩本洋子 (日吉台光幼稚園園長)・岩本邦彦 (日吉台光幼稚園副園長)・宇田川規夫 (港北区災害ボランティア連絡会・国際救急法研究所)・大神田給美 (城郷小机地域ケアプラザ)・奥山千鶴子 (NPO法人びーのびーの)・大場佳代子 (NPO法人あいあい)・大豆生田啓友 (玉川大学大学院教授)・大野玲子・大原日恵・門倉晴義 (金沢区社協)・河村太喜・北見智美 (天王町保育園園長)・木下豊 (港北図書館館長)・久保希有子・小池伊左雄・小嶋正夫 (中区社協)・小林富夫 (トライセブン)・小林康夫・嶋宏之 (笹野台地域ケアプラザ)・白瀧宏子 (たんぼぼ保育園園長)・新堂泰江 (社会福祉法人かれん)・助廣一則・鈴木ヨシモト直美 (株式会社GCI (訪問看護ステーション))・鈴木智香子 (NPO法人街カフェ大倉山ミエル)・鈴木美美子 (NPO法人ハッピーマザーミュージック)・関口昌幸(横浜市政策局)・妹尾信二 (精神保健ボランティアグループあみねつと)・芹田賢治 (たかたんのうち代表)・田中孝秀・田之畑有美 (港北区地域子育て支援拠点サテライト副施設長)・畑中祐美子 (NPO法人びーのびーの)・原美紀 (港北区地域子育て支援拠点施設長)・平井誠二 (大倉精神文化研究所)・藤岡圭子 (新吉田地区民生委員)・丸田剛洋 (北綱島特別支援学校)・武藤啓司 (楠の木学園)・村田由夫 (大倉山保育園)・宮田光明 (港北区民生委員児童委員協議会)・安江文子 (ちいさなたね保育園)・山科礼子 (日吉宮前地区民生委員)・山村朋子 (株式会社GCI (訪問看護ステーション))・安田加代子・山下容子 (放課後等デイサービスわくわくさん綱島東の扉・日吉の扉)・山本一乃 (日吉地区センター副館長)・渡邊広美 (新田地区センター)・齋藤良治 (野菜レストランさいとう オーナーシェフ)